

議案などは、各委員会に付託され、慎重に審査されます。
その経過と結果について、9月25日の本会議で各委員長から報告がありました。
ここではその概要をお伝えします。

健康福祉常任委員会

社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政、介護保険事業、子供・青少年の育成

〈令和5年度一般会計決算〉

委員 生活保護について、ケースワーカー1人あたりの担当世帯数は。

執行部 以前は1人で120世帯を担当する場合もあったが、ケースワーカーの増員により、多くとも100世帯程度になっている。

委員 標準とされる80世帯程度にできるように、丁寧に相談が受けられる体制にしてほしい。

〈令和5年度介護保険特別会計決算〉

委員 介護認定審査の件数および審査会の頻度は。

執行部 令和5年度は約3,300件の審査を行っており、審査会は週3回、年間で138回開催している。

委員 速やかに認定を行い、サービスが滞ることのないよう努めてほしい。

〈令和6年度国民健康保険特別会計補正予算〉

委員 本年12月にマイナ保険証を基本とする仕組みに移行するが、マイナンバーカードを持っていない人やカードに保険証機能をひもづけていない人への対応は。

執行部 現行の保険証に代わる資格確認証を発行する。また、現在の保険証は期限（令和7年7月31日）まで使用できる。

委員 資格確認証発行の周知と併せて、カードの作成は強制ではないことの周知も要望する。



マイナ保険証の登録率は49.1%（令和6年6月時点）

市民生活常任委員会

市民生活事業、上下水道・河川管理事業、経済・環境事業

〈令和5年度一般会計決算〉

委員 市展の応募要件を子供も対象とする考えは。
執行部 現状では対象としておらず、県展などの基準に準じた形で実施している。

委員 戸田市らしさを出して、新たな芸術家の育成や文化の振興を図るために柔軟に対応してほしい。

委員 DX伴走型支援業務の内容と実績は。

執行部 市内企業のDXを推進するため、外部の専門家と連携して生産性の向上などを図り、ICTを活用して経営の課題解決に取り組む企業を支援する業務である。令和5年度は、3社に支援を行い、うち1社はDX推進補助金も活用し、業務効率化に加えICTツールの導入により業務改善が図られた。

委員 件数の増加を検討するとともに、相談しやすい体制づくりに努め、支援を継続してほしい。

〈水道事業給水条例の一部を改正する条例〉

委員 水道事業の維持には料金改定はやむを得ないが、値上げを心配する声もあがっている。市民に対し懇切丁寧な説明を行うとともに、今後も値上げとなる場合には、緩やかな形で段階的に実施してほしい。



更新を迎える浄水場の整備にも多額の財源が必要です（写真：東部浄水場）

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。

集中豪雨



つぶやき

今年も市内多くの箇所で浸水が見られた

みらいの会

たくや そごう 拓也 議員

Q 集中豪雨における対策は

A 流域治水の考えに基づき、総合的に推進

議員 本市の下水道整備状況、近隣自治体との情報共有、グリーンインフラ活用、雨水排水のスマート化など、集中豪雨への対策全般について伺う。

水安全部長 下水道整備は、時間当たり最大降雨量50ミリメートル程度に対応できるよう整備している。浸水多発地域の超過降雨対策は、北大通り地下雨水貯留管、学校など公共施設での雨水浸透施設、調整池等の整備を進めることにより、浸水被害軽減に努めている。

危機管理監 蕨市、川口市、草加市と情報共有するとともに、「埼玉県災害オペレーション支援システム」にて状況を随時確認する。

環境経済部長 雨水浸透など自然の動きを生かすグリーンインフラの考えは重要である。緑地空間は、温室効果ガス吸収、生物多様性確保などに効果があり、グリーンインフラの導入でさらに効果を高められるため、公園の新設や改修で積極的な導入を検討している。

水安全部長 雨水排水の最先端IoT技術は、地理的特性などを踏まえ研究する。また来年度予算では、雨水対策として、「戸田市流域治水対策連絡会議」を発足、流域治水の考えに基づき、部局横断的な取り組みを総合的に進めている。



本市の事業による流域治水に係る主な取り組み

